

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2016年12月

12月に入ると、そこかしこでツリー、ベル、ヒイラギ、ポインセチアなどが飾られ、電飾も一層派手に施されます。

ツリーほかクリスマス定番の象徴は、今ではいろんな国のいろんな行事・言い伝えがごちゃごちゃになっている感があります。それでも、クリスマスが「イエス・キリストの誕生を喜び祝う行事」が元になっていることは、知っていても損はありませんね。

クリスマスにプレゼントを贈る、という習慣が根付いて久しいのですが、元々は人類に対する神さまからの「プレゼント」として、イエス・キリストがこの世に誕生したことに端を発するものです。

そう。イエス・キリストの誕生は、「プレゼント」なんです。

うれしいクリスマス！

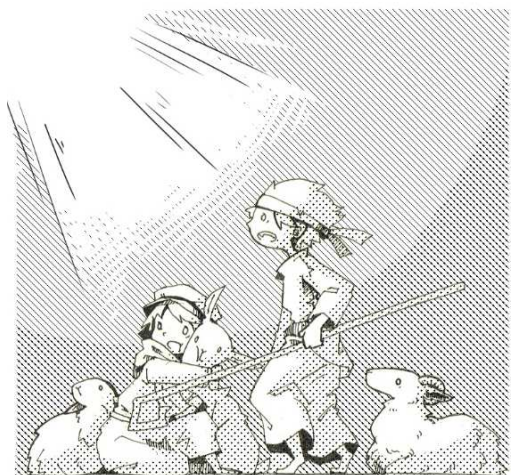
イエス・キリストが誕生した夜、野宿しながら羊の群れの番をしていた羊飼いたちに、天使が現れて告げました。

御使は言った、「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。」
(新約聖書 ルカによる福音書 第2章 10・11節)

「救い主の誕生」は、この出来事の数千年も前から、多くの預言者たちによって預言され、聖書(キリスト誕生以前に書かれた「旧約聖書」)に記されていました。それが今夜実現した、と伝えられたのです。

ここで天使は「すべての民に与えられる喜び」と語っています。その時代の人たちだけではありません。現代に生きるすべての人々をも含む「すべての」民が対象です。すべての人々は「大きな喜び」を感じることができます。クリスマスとは本来、とても嬉しいことなのです。

「でも……。恋人がいるわけでもないし、仕事もうまくいかないし、僕にとってはどうでもいい、いや、無い方がいい行事だな」



札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

そんな感想の方も、おられるかも。でも、それは違います。クリスマスは、恋人と過ごすものでも、家族の絆を深める日でも、バカ騒ぎをして羽目を外す日でもありません。あなたに与えられた「プレゼント」であるイエス・キリストを、喜び楽しむ日なのです。イエス・キリストについて「よく知らない」なら、祈り求めてみて下さい。人間「が」想像力で作り上げた宗教ではなく、人間「を」作った神さまが、その喜びを理解できるように、助けて下さることでしょう。



祈ってみましょう

天地万物の創造主である神さま。イエス・キリストの誕生が、わたしのためのプレゼントだと読みました。何が喜びなのでしょう。何が嬉しいのでしょうか。イエス・キリストについて、どんな方なのか、わたしに何の関わりがあるのか、理解できるように助けて下さい。今年のクリスマスが「うれしいクリスマス」になると良いなと思います。お願いします。

クリスマス礼拝のご案内

キャンドル礼拝 2016年12月24日(土) よる 7:00~8:30

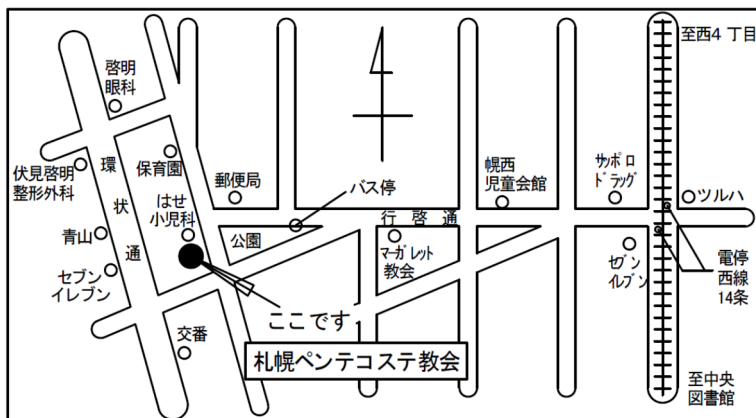
クリスマス礼拝 2016年12月25日(日) ひる 10:30~12:00

キリストの誕生をお祝いする日である『クリスマス』。
ほんとうのクリスマスを、教会で過ごしませんか。

どちらも、入退場自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、する・しないも、金額も、各自の自由です。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車

駐車スペース有